



2014~2015年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーに輝きを
LIGHT UP ROTARY



撮影: 古川 明会員



倉敷南ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8001 倉敷市連島町西之浦4141 ヘルスピア倉敷

第2625例会 R.Song「奉仕の理想」天候:雨

No.2625/2015.6.5

Guest 大橋宗志様(山陽新聞社 取締役社長室長)

Visitor 坂本君(倉敷)

出席 会員数 57名(うち出席規定免除者①2名②12名)
6/5の出席率 74.51%(出席者38名、内②8名)
5/22の出席率補正 87.93%
欠席者 江澤、藤木、萩原、井上(敏)、實盛、笠石、吉川、小瀬、大矢、大月、
佐藤公、横田、川端、各君(13名)

原会長

- 約10年会員であられた佐伯 良一会員(水島ガス)が、本日をもって退会されます。
- 本日の卓話は、私と森下会員の天城高校の同級生『大橋宗志さん』がネット時代の新聞というテーマでお話していただきます。
- 真言宗勤行次第も今日で最後になります。
- 13.大金剛輪陀羅尼について、罪障や魔念を取り除くことを祈願する陀羅尼である。勤行の際に、読経や真言を読み間違えたり、雑念や邪念が生じた際の赦しを乞うために唱えられる。
- 14.回向文について、お唱えて得られた功德を縁のある人々だけでなく、生きとし生けるものすべてに及ぼし、私とみんなが仏道を成就しますように。

佐伯会員 退会挨拶

- このたび水島ガスを退職することになり、これを機に退会させていただきます。長年にわたり、スケジュールと時間に管理された生活を送ってまいりましたがこれからは、好きな趣味などでのんびりとした生活を送っていきたいと思います。長年ロータリーで一緒に過ごさせていただき誠に有難うございました。なお、私の後任もロータリーに入会するように手配しております。

幹事報告(樋口幹事)

- 第2690地区松本ガバナー事務所より、①2015-2016年度ガバナーノミニー候補について。②地区目標達成の基本人員数について。③地区ローターアクト、リーダーシップフォーラムの開催について。他、報告5件

ロータリーの友 6月号紹介(佐藤正浩雑誌記録委員長)

- 浜田ロータークラブが1983年度の地区大会(ガバナーが当クラブから選出)を機に奨学金制度を開始継続(注:岡山RCが独自の奨学金制度を持っているのを知ったのがきっかけ)
- 虐待、いじめ、少年非行の現場に関する記事。
- 歯でかむことの効用⇒いろんな効用が知られているがボケ防止にも効用がある。

親睦家族委員会

- 6月のお誕生:池上、佐伯、藤木、佐藤公、吉川、各会員(5名)
- 池上員:2年後のガバナー候補に推挙されるまでになったことが、一番びっくりしている。ここまでのきっかけは全て、当時の中村会長にある日突然、来年度の会長をやってくれと言われて受けたことです。
- 佐伯良一会員:一番良かったことは、各業界を代表するいろいろな方に巡り合えたことです。ロータリーに入らなかったらまずこのような機会はなかったと思い、本当に感謝しています。

SMILE (岡 S.A.A)

- 森下会員:①先日の高松での親睦ゴルフコンペで初日は77で回り優勝。2日目は79で回り3位で総合優勝することが出来ました。ロータリーに入会して11年で初優勝。こんなに嬉しいことはありません。②本日ゲストの大橋宗志様を心より歓迎します。高校時代の同期で、共にハンドボール部で切磋琢磨した仲です。
- 土井会員:大橋室長を心から歓迎します。スピーチを宜しく願います。
- 柘野会員:山陽新聞社取締役社長室長 大橋宗志様の卓話を歓迎して。
- 原会長:卓話で大橋宗志様をお迎えして。
- 井上(数)会員:社会福祉法人倉敷にじの里併設を決定しました。一層地域に尽くします。
- 佐伯会員:長い間ありがとうございました。

プログラム 卓話 「ネット時代の新聞」

大橋宗志様 (山陽新聞社 取締役社長室長)

- 皆様既にご承知の通りインターネット普及により、新聞業界は劇的に変わり新聞紙購読者が急速に減少しています。
- 国内新聞発行部数:2004年53,020千部(1世帯当たり1.06部)⇒山陽新聞463千部
2014年45,360千部(1世帯当たり0.83部)⇒山陽新聞417千部
- 岡山理科大での学生アンケート結果(対象100人)
新聞を読むと答えた人は24人いましたが、その頻度は
毎日orほぼ毎日新聞を読む:3人、月3回程度読む:8人
と哑然とするぐらい新聞を読む人が少なかった。情報収集源を調査した結果
スマートフォン:88人 パソコン:66人 新聞:17人
- 新聞の電子版は、無料でスタートした結果、オンラインユーザーが急増した。
※無料とした理由インターネット版の広告収入を期待した。⇒広告収入は期待外れに終わり無料化戦略は、新聞紙購読者の減少を招いただけで失敗に終わった。
- 経済新聞を中心に電子版の有料化に戦略を変更したが、優良に踏み切れない新聞社も多く、購読者数は、まだ少ない。
日本経済新聞:40万人 朝日新聞:20万人 山陽新聞:1,400人
- 今後の新聞のキーワード
①紙とオンラインの融合⇒活字と動画の融合
②ハイパーローカル⇒地域に根差した詳しい情報の提供(地域との一体化)

例会プログラム予定

2015・6・12(金) 卓話 インニエーションスピーチ 須江隆行会員

2015・6・19(金) 卓話 新旧引継夜間例会18:30～ 於 ヘルスピーア倉敷